

九 州 支 部		
29 年 3 月		
4 月	28	第 1 回役員会
5 月	17	第 1 回幹事会・講演会
7 月	1	第 54 回化学関連支部合同九州大会 第 22 回九州支部学生賞審査会
	14,15	第 28 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会
7,8 月	7/26-28	第 48 回化学工学の基礎講習会
	8/2-4	
	8/16-18	
9 月	26	第 2 回役員会(拡大)
10-1 月		第 12 回化学工学の基礎出前講習会
11 月	12-14	2017 KJT2017(韓日台化学工学会議)
12 月	2	第 30 回化学工学に関する国際シンポジウム (KAIST)
30 年 1 月	19	第 20 回企業と大学・高専の人材育成懇談会
	19	第 3 回役員会
3 月	22	第 2 回幹事会

第 54 回化学関連支部合同九州大会 報告

第 54 回化学関連支部合同九州大会が行われ、大変盛況のうちに行われました。化学工学会九州支部では、45 件のポスター賞応募発表に対し 30 人の審査員で化学工学分野の審査を行い、下記の優秀発表者 6 人をポスター賞として表彰いたしました。これらの発表者には、懇親会において吉塚和治支部長より賞状と副賞(図書カード 3000 円分)が手渡されました。ここに受賞者の栄誉を称えますと共に、ポスター賞審査にご協力頂きました審査委員の先生方に厚く御礼申し上げます。

日時：平成 29 年 7 月 1 日

場所：北九州国際会議場

概要：特別講演 1 件、依頼講演 8 件、一般ポスター発表 679 件

(うち化学工学分野から、依頼講演 1 件、一般ポスター発表 95 件)

化学工学会九州支部推薦 依頼講演

Armando T. QUITAIN (熊本大学)

“Development of Reactive Separation Process Utilizing the Synergy between Sub/Supercritical H₂O/CO₂”

ポスター賞受賞者 (順不同、敬称略)

Elaine G. Mission (熊本大学) “Hydrolytic Depolymerization of Polysaccharides using Microwave-Graphene Oxide Synergism”

林 実樹 (佐賀大学) “高分子電解質修飾シリカ粒子および疎水性基板を用いた非最密充填単粒子膜の作製”

西村 亘生 (有明工業高等専門学校) “流体力学的手法に

よるグラフトポリマーの物性評価”

波多江 悠 (崇城大学) “トレハロースリポソームの肺がんモデルマウスに対する治療効果”

久賀 智尋 (長崎大学) “孔貫通型シリコンフィルムを利用した肝類似パターンニング”

佐々木 慎太郎 (九州大学) “血管新生を誘導する移植用基材の開発と毛包原基作製に関する検討”

審査委員氏名 (敬称略、順不同)

審査委員長：吉田昌弘 (化学工学会九州支部企画幹事)

審査取りまとめ役：森貞真太郎 (Q-NET 会長)

審査委員 (30 名)

井嶋博之 (九州大)、井藤彰 (九州大)、河邊佳典 (九州大)、後藤雅宏 (九州大)、若林里衣 (九州大)、神谷典穂 (九州大)、水本博 (九州大)、白木川奈菜 (九州大)、名嘉山祥也 (九州大)、山村方人 (九工大)、村上直 (九工大)、吉塚和治 (北九大)、上江洲一也 (北九大)、西浜章平 (北九大)、中澤浩二 (北九大)、瀬戸弘一 (福岡大)、森貞真太郎 (佐賀大)、川喜田英孝 (佐賀大)、キタイン・アルマンド (熊本大)、佐々木満 (熊本大)、松本陽子 (崇城大)、市原英明 (崇城大)、大島達也 (宮崎大)、大柴薫 (宮崎大)、吉田昌弘 (鹿児島大)、武井孝行 (鹿児島大)、近藤満 (有明高専)、大河平紀司 (有明高専)、城野祐生 (佐世保高専)、岩熊美奈子 (都城高専)

(九州支部庶務幹事 名嘉山祥也)

化学工学会九州支部第22回 (平成29年度) 学生賞審査会報告

本審査会は毎年開催している支部企画です。研究内容とその成果を重視して研究グループの成果を学生の発表を通して審査する他の多くの賞とは異なり、本企画では、学生自身の研究への姿勢と能力を審査することが大きな特徴です。その観点から、応募学生自身による研究テーマと内容の理解度、その中における学生自身の寄与とその重要性・独自性を、発表における伝達能力を通して審査を行います。今回は修士課程 3 名と博士課程 2 名の応募がありました。厳正な審査の結果、下記の受賞者を決定し、吉塚支部長より賞状と副賞(図書カード 5000 円分)が手渡されました。発表した学生諸君の研究への理解と発表能力は多様な個性を示し、今後の多様な分野における活躍が期待されるものでした。長時間にわたり教育的見地に立ち、厳正なる審査を担当して頂いた審査委員の皆様へ、心より感謝申し上げます。

日時：平成 29 年 7 月 1 日

場所：AIM ビル(北九州市小倉北区浅野 3 丁目 8 番 1 号) 8F KIPRO ホール

檀上創 (鹿児島大学) “オートクレーブ滅菌耐性を有するグルコン酸修飾キトサンクライオゲルの開発と創傷被覆材への応用”

審査委員 (6 名) (順不同、敬称略)

吉塚和治 (北九大)、松本陽子 (崇城大)、森貞真太郎 (佐賀大)、名嘉山祥也 (九州大)、白木川奈菜 (九州大)、瀬戸弘一 (福岡大)

(九州支部庶務幹事 名嘉山祥也)

H29 年度 第 28 回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会

実施日： 平成 29 年 7 月 14 日(金)~15 日(土)

会 場： ホテル湯の児 海と夕やけ(〒867-0009 熊本県水俣市大迫 1213)

参加者総数： 114 名(学生 89 名, 教員 17 名, 企業 8 名)

担当校： 熊本大学

実行委員長	佐々木 満	熊本大学大学院
学生幹事 代表	佐土原功樹	熊本大学大学院
庶務	平野 雄大	熊本大学大学院
	宮川 裕介	熊本大学大学院

木田研究室
木田研究室
木田研究室
木田研究室

討論会実施内容

会場制の合宿形式で行った。第 1 日目は、学生企画、特別講演およびポスター発表事前学習交流会を行った。第2日目はポスター発表を実施したのち、総合討論を行って本会を閉会した。本会の会計報告書を別紙3に記す。

○学生企画 「ソーサークルローラー & 魔法陣を作ろう」

この企画は、ボール紙を使った工作で、傾斜版を転がり落ちる 2 枚の円板を作製し、うちわであおぐことによってその距離を競う企画でした。また、魔法陣とはすべて異なる数字を入れて縦・横・対角線の和が一定になる正方形の表のことを言い、その表を完成させる企画であった。各グループが、より転がるようなローラーや魔法陣を作製するため試行錯誤することで、楽しみながら他大学の学生との親睦を深めることができた。

○特別講演会(Q・NET, 学生若手の会 合同企画)

まず、Q・NET 企画として、以下の講師をお招きした特別講演会を開催した。

- 物産フードサイエンス株式会社 兼 信州大学特任教授 榎島 聡氏講演題目「イノベーションのためのキャリアデザイン」

引き続き、学生企画として、社会人約5 年目、約10 年目の先輩技術者による特別講演会を開催した。

- JNC 株式会社 水俣製造所 川邊 俊行氏講演題目「学生時代の専攻とプロセス開発業務に関するご紹介」
- JNC 株式会社 水俣製造所 石黒 弘規氏講演題目「現在までに携わった業務と技術者としての意識の変化」

いずれのご講演も、今の大学院生へのアドバイスを、ご自

身の体験を交えながらお話しして頂いた。研究生生活・就職活動・就職後の働き方すべてに活かせる内容でしたので、参加学生にはとても実用的かつ刺激的で、とても勉強になったであろう。

○ポスター発表事前学習交流会

初日最後のプログラムとして、「食事・交流会」が行われた。これは、各研究室の代表者が自身の研究室の研究を紹介する企画であった。懇親会も兼ねており、参加者同士で食事をしながら終始和やかな雰囲気の中で発表が行われた。交流会の中盤から後半にかけて、大学間、また教員・学生間の枠を越えて親睦を深めることができ、各学生の今後の活動にとって非常に有意義な時間となった。

○ポスター発表

7 月 15 日(土) 9:00~11:00 にポスターセッションを実施した(奇数番60 分+偶数番60 分)。学生ポスター発表の審査対象は 89 件であった。参加者全員が審査員となり、教員票は学生票の3倍の得点として投票によりポスター審査を実施し、上位 2 名を最優秀賞、次の 4 名を優秀賞受賞者として選出した。閉会式にポスター賞受賞式を行い、賞状および副賞(図書カード)を授与した。

その後、ポスター賞授賞式、総合討論、会計報告、アンケート調査を行った後、本会を閉会し、集合写真を撮影して解散とした。なお、次回(第29 回大会)は九州大学 若林助教を世話人として開催される予定である。

第28回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 プログラム

【第1日目 平成29年7月14日】

12:00-12:50 参加受付

13:00-13:10 開会式(大会議場)

13:10-14:40 学生企画(大会議場)

14:40-15:00 休憩

15:00-16:25 特別講演会(大会議場)

・榎島 聡 様(物産フードサイエンス(株), 信州大学 特任教授)

・石黒 弘規 様(JNC(株) 水俣製造所 生産技術部)

・川邊 俊行 様(JNC(株) 水俣製造所 生産技術部)

16:25-18:30 休憩

18:30-20:00 食事・交流会

【第2日目 平成28年7月15日】

09:00-10:00 ポスター発表(奇数番号)

10:10-11:10 ポスター発表(偶数番号)

11:10-11:40 休憩・チェックアウト・ポスター賞集計

11:40-12:00 総合討論・表彰式・集合写真撮影・閉会式(大会議場)

12:10- 送迎バス出発

第28回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会 ポスター賞受賞者

No.	氏名	受賞	演題
20	孔 慶リョウ	最優秀賞	Transcutaneous pollinosis immunotherapy by using Solid-in-Oil nanodispersions
30	迫口 翔吾	最優秀賞	磁性粒子を利用した微小液滴の効率的攪拌法の開発とマイクロリアクターとしての機能評価
11	甲斐 貴幸	優秀賞	エタノール/トルエン混合液中の粒子凝集と時間依存増粘現象
46	光武 優希	優秀賞	共晶型イオン液体を用いたゼオライトの合成
61	長谷川 千裕	優秀賞	基板弾性率が幹細胞培養に与える影響
84	Elaine Mission	優秀賞	Microwave Assisted Hydrolytic Depolymerization of Cellulose over Graphene Oxide

平成 29 年度 「第 48 回化学工学の基礎講習会」 報告

【開催日】 7 月 26 日 ~ 8 月 18 日 (全 9 回)

【会場】 九州大学西新 7th 大会議室
福岡市早良区西新 2-16-23

【受講者】

延べ受講申込数 301 名

延べ出席者数 266 名

		申込 / 出席
1. 化学工学基礎	[7 月 26 日(水)]	46 / 43
2. 流動	[7 月 27 日(木)]	30 / 25
3. 伝熱	[7 月 28 日(金)]	29 / 23
4. 攪拌・混合	[8 月 2 日(水)]	36 / 34
5. 蒸留	[8 月 3 日(木)]	46 / 43
6. 抽出	[8 月 4 日(金)]	38 / 33
7. 固液分離	[8 月 16 日(水)]	23 / 19
8. 粉粒体操作	[8 月 17 日(木)]	26 / 22
9. ガス吸収	[8 月 18 日(金)]	27 / 24

平成 29 年度 「第 12 回基礎延岡出前講習会」

- 【開催日】 平成 29 年 10 月 11 日, 12 日, 27 日, 11 月 2, 13 日, 12 月 12 日
平成 30 年 1 月 11, 16 日(全 8 回)
- 【場所】 旭化成研修所 セミナープラザ青雲 (延岡市)
- 【講師】
- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 化学工学基礎 | 岩井 芳夫(九州大学) |
| 2. 流動 | 松隈 洋介(福岡大学) |
| 3. 伝熱 | 深井 潤 (九州大学) |
| 4. 固液分離 | 後藤 宗治(北九州工業高等専門学校) |
| 5. 蒸留 | 甲斐 敬美(鹿児島大学) |
| 6. プロセス制御 | 柘植 義文 (九州大学) |
| 7. 反応工学(1) | 神谷 典穂(九州大学) |
| 8. 反応工学(2) | 岸田 昌浩(九州大学) |
- 【受講者】 延べ受講申込数 117 名
- | | | |
|------------|-------------|------|
| 1. 化学工学基礎 | (10 月 11 日) | 17 名 |
| 2. 流動 | (10 月 12 日) | 18 名 |
| 3. 伝熱 | (10 月 27 日) | 12 名 |
| 4. 固液分離 | (11 月 2 日) | 17 名 |
| 5. 蒸留 | (11 月 13 日) | 15 名 |
| 6. プロセス制御 | (12 月 12 日) | 10 名 |
| 7. 反応工学(1) | (1 月 11 日) | 16 名 |
| 8. 反応工学(2) | (1 月 16 日) | 12 名 |

韓日台化学工学会議 / KJT2017 (2017 Korea/Japan/Taiwan Chemical Engineering Conference)

November 12-14, 2017

Haeundae(海雲台) Grand Hotel, Busan

Organized by Busan-Gyeongnam branch, KICHE (The Korean Institute of Chemical Engineers)

Co-organizers

Kyushu Branch, Society of Chemical Engineers, Japan

Taiwan Institute of Chemical Engineers

Scopes and Themes

Chemical Engineering

Chemical engineering and thermodynamics

Catalyst engineering

Separation engineering

Reactor design and process engineering

Energy & Environment

Photovoltaics and solar energy conversion

Hydrogen production, storage, and fuel cells

Electrochemical energy storage and conversion

Carbon capture and storage

Biofuels and biorefineries

Climate change

Materials for sustainability

Materials

Nanostructured functional materials

Soft matter and biomaterials

Organic-inorganic hybrid materials

Composite materials

Multi-scale materials modeling

Invited Lectures

Prof. Do jin Lim (Pukyung National Univ.)

Prof. Jeon-soo Kim (Dong-A Univ.)

Prof. Yongchul G. Chung (Pusan National Univ.)

Prof. Jun Fukai (Kyushu Univ.)

Prof. Seung-Woo Lee (Univ. of Kitakyushu)

Prof. Motoaki Kawase (Kyoto Univ.)

Prof. Jeffrey Chi-Sheng Wu (National Taiwan Univ.)

Prof. Kuo-Lun Tung (National Taiwan Univ.)

Prof. Ya-Sen Sun (National Central Univ.)

第 30 回化学工学に関する国際シンポジウム/ ISChE 2017 (The 30th International Symposium on Chemical Engineering 2017)

December 1-2, 2017

KAIST (韓国大田市、<http://www.kaist.edu/html/en/index.html>)

共催 化学工学会、化学工学会九州支部、韓国化学工学会大田/忠南支部

Sessions

Biotechnology

Energy & Environment

Reaction and Reactors

Organic

Materials

Inorganic Materials

Separation

Miscellaneous

Special Session

第 20 回企業と大学・高専の人材育成懇談会

日時 平成 30 年 1 月 19 日（金）12 : 40-19 : 00

会場 TKP ガーデンシティ博多新幹線口

福岡市博多区博多駅中央街 5-14 福さ屋本社ビル

日程

12:10 受付開始

12:40-12:45 (プレミアムホール) 副支部長挨拶

12:45-16:45 (プレミアムホール) 参加企業と大学・高専の相談会

17:15-19:00 (3-A) 懇親会

参加者 44 名

企業 15 社 27 名

高専 5 校 5 名

大学 7 校 12 名